

メガホン

2024 SUMMER Vol. 20
発行：富岡町図書館



福島芸能の灯消さず 震災を生きる人々
菊池 和子／写真・文
(遊行社、2019年)



言葉や発音、風や波の音など、生活していると聞こえてくる「地域の音」があります。その音が聞こえて、帰ってきたなと感じる方もいるのではないでしょうか。祭りやお囃子もその一つ。浜通りの民俗芸能を守ろうとする人々の声を静かに拾った1冊です。

今日からはじめる蓄音機生活

梅田 英喜／著
(デコ、2021年)



最近、アナログレコードの人気が高まっています。この再生を、電気的な加工を行わない蓄音機にしてみませんか。音が聞けるようになるまでの手間ひまもおもむきがあります。機器の扱い方、インテリアとしてのデザイン、発明の歴史まで楽しめる1冊です。

スwingしなけりや意味がない

佐藤 亜紀／著
(KADOKAWA、2019年)



ナチス政権下のドイツ。軍需会社の御曹司エドゥアルトは、「敵性音楽」の“スwing”に夢中です。ゲシュタポの目をかいぐっては歌い踊る日々を送りますが、戦争の足音は次第に大きくなってゆき…。ジャズナンバーに人々の思いを乗せた歴史小説です。

の人ひとりがこの世のすべてだった頃

ナ・テジュ／著、藤田 麗子／訳
(KADOKAWA、2022年)



韓国では詩の朗読会がさかんに行われ、恋人同士で詩を贈りあう事も多いと聞きます。韓国ドラマの劇中などでも、詩人である著者の詩が取り上げられ、話題を集めました。短い言葉と美しい挿画で、メロディが奏でられているような、心に響く1冊です。



今回のテーマ

感情や記憶を揺さぶる不思議なはたらき、音。本の中に響く様々な音を、静やかに堪能してください。

フィールド・レコーディング入門

響きのなかで世界と出会う
柳沢 英輔／著
(フィルムアート社、2022年)



フィールド・レコーディングとはその場にある環境音をありのまま録音する手法のことです。音を忠実に記録するのとは異なり、場所が持つ情報や録音者の視点が宿ります。聴くことで見えてくる世界へとあなたを誘う1冊です。

家守綺譚

梨木 香歩／著
(新潮社、2006年)



亡き友人の家守をすることになった文筆家の綿貫。趣のある一軒家には、河童や小鬼、さるすべりの精など、実に様々なものがやってきます。豊かな四季の描写から自然のざわめきが聞こえてくるよう。不思議でどこか懐かしい、今から百年ほど前の物語です。

ベンのトランペット

レイチェル・イザドラ／作・絵、谷川 俊太郎／訳
(あかね書房、1981年)



黒人の少年ベンが憧れているのはトランペッター。楽器は買えないけれど、持っているつもりで練習している。そんなベンをみんなはバカにするけれど…。大音量のジャズと人々の熱気が伝わってくる、白黒だけで描かれた激渋な絵本です。

2021年に運行を開始した富岡町の移動図書館車。巡回場所も増え、本と人の輪が広がっています。
今号では、その活動のようすをお届けします。巡回コースの場所や時間など、詳細は図書館ホームページでご覧ください。

図書館ホームページ
移動図書館のページ



いってきまーす!!



今日の最初の巡回先はこども園！
ブックトラックいっぱいに絵本を積んで出かけます。車が到着すると、子どもたちが元気に駆けよってきてくれました。



求められる本は、行く先々で違います。
みなさんの希望に合わせて、本を選んでいます。
いつも新しい出会いがあるように、毎週少しづつ
本棚の入れ替えをしています。



町内をはじめ、いわき市や福島市、郡山市など、
町民のみなさんのもとへ、本とおしゃべりの場を
届けます。活動は双葉郡内に広がり、今年度から
双葉町への巡回がはじまりました。



車が出かける前の
図書館では...



▲ 巡回先の子どもたちの年頃を考え、季節や興味に合わせて毎月 200 冊ほど選んでいます。



▲ いつも本との新しい出会いがあるように、本棚は毎週少しづつ入れ替えています。



▲ ご予約いただいた本は、次の巡回日にご提供できるように専用棚に取り置きします。

利用カードはその場で作れます！

図書館の利用登録を行いカードが発行されると、本を借りることができます。お名前とご住所が確認できるもの（免許証や保険証など）をお持ちください。

富岡町の移動図書館を利用する方

- ・双葉郡に在住（住民票がある）方
- ・双葉郡に通勤、通学されている方
- ・移動図書館が巡回する団地にお住まいの方



車にない本でもご相談ください！

移動図書館車の棚に希望の本が見当たらない…。そんなときは予約・リクエストサービスをご利用ください。読みたい本が決まっているときはもちろん、「こんな本、ある？」というご相談もお気軽にどうぞ！お電話でも受け付けています。
貸出は次の巡回日まで（約1か月間）です。ゆっくり本を楽しめます。

【横のヒント】

- 用がなくても旅にでよ！元祖「乗り鉄」作家が書いた紀行文『阿房列車』の作者、内田〇〇
- 蛙の詩で知られる草野心平とゆかりのある双葉郡の町村

【縦のヒント】

- 『八甲田山死の彷徨』など山岳小説というジャンルを開拓した作家、〇〇次郎
- 今年の本屋大賞！宮島未奈『成瀬は〇〇を取りにいく』
- 学生の質問に対する真面目で機知にとんだ回答が話題を呼んだ図書、『生協の〇〇さん』
- 今年100歳になった児童文学作家、神沢利子の代表作は『くまの子〇〇〇』

ちょっとひと息

どしほかんワロスマワード

1.	2.
3.	4.
5.	6.

気になる作家や作品を見つけたら、ぜひ読んでみてくださいね！